

「総合政策研究紀要」創刊にあたって

学校法人 尚美学園

理事長・学園長 赤松 憲樹

尚美学園大学は、平成12年4月、「智と愛」を建学の精神に75年の歴史を持つ学校法人尚美学園を母体に、芸術情報学部情報表現学科・音楽表現学科、総合政策学部総合政策学科の2学部3学科からなる総合大学として開学いたしました。

尚美学園大学が目指すのは、現代社会が必要とする「創造力」「表現力」「実践力」を持った人材育成です。そしてこの目的を達成するため、総合政策学部においては、法律、政治、経済、金融、国際関係、ジャーナリズムといった分野をトライアルに、横断的に、自分の専門分野を自らの意思で決定できるシステムを構築いたしました。

積極的に文化・社会の創造に関与する思想をもち、教育機関の独自性やその資源価値から社会貢献しうる位置にあることを改めて認識し、教育機関や付属する各機関との連帯のもと、時代のイノヴェーターを誕生させる役割を持っていると考えます。

尚美学園大学では、多才な教育・研究陣容と施設をもち、それを基盤として、さらに知的・感性資源を未来へ活かすべく、自由で独自性のある教育・研究活動ができる大学であることを願っています。特に総合政策学部にあっては、現実社会にあってサイバースペースの中で情報を自由にやりとりしながら、自らの発想、表現、政策を社会に向けて創造的に発信するための教育研究とその成果が求められています。

グローバル化、ネットワーク化が急速に進展する21世紀の国際社会において、尚美学園大学が、世界を視野にいた総合大学として、確固たる地位を確立するためにも、今回の研究紀要が発刊されたことは、きわめて意義深いものがあり、創立者として大きな喜びでもあります。そして、本誌が広く社会に貢献し、その発展に奇与することを心から願うものであります。